

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.23

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉市中央区登戸1丁目計画	階数	地上9F
建設地	千葉県千葉市中央区登戸一丁目137番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	88 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2028年6月 予定	評価の実施日	2026年8月27日
敷地面積	446 m ²	作成者	山本明
建築面積	272 m ²	確認日	2026年8月27日
延床面積	2,016 m ²	確認者	佐藤将吾

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

3.0 1.5 BEE=1.0

100 50 0

0 50 100

環境負荷 L

2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 50 100 (kg-CO₂eq/年・m²)

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.4

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

地球温暖化 地域環境 周辺環境

Q のスコア= 3.3

LR のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
■千葉県千葉市中央区に建設される集合住宅である。 ■ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・建築材料は、F☆☆☆☆を全面的に使用し、室内空気環境に配慮している。	・耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	・植栽による修景、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。	・躯体と仕上材の分離が容易であり、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	・光害対策ガイドラインチェックリストの項目の過半を満足している。 ・広告物照明はない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される